

令和 1 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	図書館・文化ホール等建設事業	会計名称	一般会計		担当課	都市住宅課	
		予算科目	10 款 5 項 6 目	事業番号	4891	所属長名	三谷陽紀
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	小寺卓也	
法令根拠等	伊予市立図書館設置条例、伊予市文化交流センター条例				実施期間	【開始】	令和/平成 25 年度
総合計画での位置付け	生涯教育都市の創造 個性豊かな文化の振興					【終了】	令和 2 年度(予定) <input type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	生涯学習や創造・文化芸術活動を通じて未来を担う子どもたちやそれを支える人たちが育つだけでなく、「ひと・まち・ぶんか」が出会い、つながっていく仕組みを創る。						
事業の対象	市民			事業の目的	老朽化・バリアフリー等に問題のある図書館・文化ホールを複合施設として整備することで、多様な目的で訪れる幅広い利用者の要望に合った活動空間が提供でき、新たな出会い・発見・交流の機会を創設する。		
事業の内容 (整備内容)	図書館・文化ホール 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建て 延床面積5,567.24㎡、駐車場 鉄骨造平屋建て (2層屋上駐車場) 延床面積1,723.27㎡			昨年度の課題に対する具体的な改善策			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)								事業活動の実績 (活動指標)				
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	1年度予定	9月末の実績	1年度実績
直接事業費	1,504,178	752,564	0	1,236,291	12,166	1,976,661	委託料	千円	27914	50661	8204	41949
国庫支出金	737,950	230,280	0	585,169	0	812,458						
財源内訳	0	0	0	0	0	0	工事請負費	千円	1475900	1842729	521	1838847
県支出金	0	0	0	0	0	0						
地方債	727,100	400,700	0	604,300	0	995,900						
その他	37,200	112,914	0	0	1,390	112,914	その他経費	千円	364	5583	5777	95865
一般財源	1,928	8,670	0	46,822	10,776	55,389						
職員の人工(にんく)数	1.30	1.30				1.80						
1人工当たりの人件費単価	7,982	7,992				7,992						
※ 直接事業費+人件費	1,514,555	762,954				1,991,047						
主な実施主体	直接実施		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		委託料(41,494千円)							
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	5年間の合計		
					17,445						17,445	
成果指標	指標	事業進捗率(事業費)経過年度進捗÷全体×100			単位	区分年度	前年度	1年度	-年度	目標	2年度	
	指標設定の考え方	実施スケジュールに基づき工程管理を行ない、目標年度での完成を目指す。			⇒	目標	79	95.7	-	100		
	指標で表せない効果					実績	62.1	99.8				

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		厳しい工期ではあるが施工業者と綿密な工程の協議を行い、令和元年8月に本体完成におけるプレオープン、令和2年3月に駐車場完成におけるグランドオープンを目指す。									
事務事業の評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が	A	事業成果・工夫した点	旧図書館の解体時による振動問題等を解決し、事故が発生することなく工期内に完成することができた。		
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	4						
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	5	合計点が	A				
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4						
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	4						
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	4	合計点が	A	事業の苦勞した点・課題	図書館文化ホールの完成に至ったが、今後は国道378号線拡張に伴う郵便局移転において残地に予定している駐輪場整備等を図る必要がある。			
		コスト効率	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	4							
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。	4							
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が			A	事業の方向性	<input type="checkbox"/> 事業継続と判断する。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 施設建設は今年度をもって完了し、次年度の周辺建物事後調査業務で事業完了となるため。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	5						
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4	合計点が	A					
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	2							
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	4							
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	4	合計点が	A	所属長の課題認識	今年度をもって施設建設は完了となった。次年度以降は適切な管理運営を行ない利用者の満足度向上に努める必要がある。				
	コスト効率	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	3								
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。	4								

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。			

行政評価委員会の答申	外部評価	<p>答申の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響で、各種イベントが実施できないのを非常に残念に思う。評判のピアノを早く聴きたい。</li> <li>・非常に素晴らしい施設である。周辺整備で築港吾川線のJRの踏切が拡幅され、通行しやすくなり安全性が高まった。</li> <li>・今後は中身をしっかりと利用してもらえるように。そちらの方が難しいため、力を入れて実施してもらいたい。</li> <li>・歩道の件など困難なことは多々あるが、周辺整備を含めた全体的なオープンが楽しみである。</li> <li>・教育委員会だけで完結させないように。施設の運営についてクロスチェックができる庁内組織や仕組みを作ることが、より良く長続きさせる秘訣である。</li> </ul>
------------	------	--

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断会議	事業の方向性		コメント欄 郵便局の移転・侵入道路の改良等の周辺整備を鋭意推進していく必要はあるが、施設の完成に伴い事業を廃止する。
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	